

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
老年作業療法評価学演習		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
中西 康祐	C310	knakanishi	水曜日 5 時限		
授業の目的・概要	老年期の作業療法の評価を展開するうえで必要となる生理学的、老年学的知識、認知症の評価に必要な基本的知識、老年期分野に関連する評価で使用頻度の高い尺度を理解することを目的とする。なお、授業は動画も活用して理解し、その後、メディアを通じたフィードバック等により理解を深める。				
学習上の助言	人間の老化に伴う生理学的変化、認知症の基礎知識、認知・ADL 等の側面を評価する尺度について授業を展開する。いずれも老年期の作業療法を行う上で欠かせない基本的ポイントのため、講義毎に教科書や配布された資料等を丁寧に読み込み、丁寧に復習することをお勧めする。				
教科書	高齢期作業療法学 第3版 著：松房利憲、新井健五 出版社：医学書院 必要に応じて資料の配布、映像資料を用いる。				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	高齢期の一般的特徴、生理的老化について理解し、説明できる。		OT(2)(3)		
②	老年期に生じる心身の障害について理解し、説明できる。		HSU(3)、OT(2)(3)		
③	認知症の基本的症状および特徴について理解し、説明できる。		OT(2)(3)		
④	老年期で用いる評価尺度について理解し、説明できる。		OT(2)(3)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	高齢期の精神的・心理的特徴を理解する (知能・記憶を中心に)	同時双方向型授業	教科書 P49-50 と配布資料のポイントを整理する。	1	
2	MMSE・HDS-R・MoCA を中心に知的・認知関連の評価について学ぶ①	同時双方向型授業	教科書 P130-P137 と配布資料のポイントを整理する。	1	
3	MMSE・HDS-R・MoCA を中心に知的・認知関連の評価について学ぶ②	同時双方向型授業	教科書 P130-P137 と配布資料のポイントを整理する。	1	
4	認知症をきたす代表疾患と特徴を理解する①	同時双方向型授業	教科書 P64-73、P137-140 と配布資料のポイントを整理する。	1	
5	認知症をきたす代表疾患と特徴を理解する②	同時双方向型授業	教科書 P64-73、P137-140 と配布資料のポイントを整理する。	1	
6	認知症をきたす代表疾患と特徴を理解する③	同時双方向型授業	教科書 P64-73、P137-140 と配布資料のポイントを整理する。	1	
7	認知症をきたす代表疾患と特徴を理解する④	同時双方向型授業	教科書 P64-73、P137-140 と配布資料のポイントを整理する。	1	
8	認知症をきたす代表疾患と特徴を理解する⑤	同時双方向型授業	教科書 P64-73、P137-140 と配布資料のポイントを整理する。	1	
8	FAST・CDR・DBD を中心に認知症重症度・行動症状等の評価について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P134-P137 と配布資料のポイントを整理する。	1	
10	FIM・Barthel Index を中心に ADL 関連の評価とその技法について学ぶ①	同時双方向型授業	評価表の語句と配布資料の使用方法を理解する。	1	
11	FIM・Barthel Index を中心に ADL 関連の評価とその技法について学ぶ②	同時双方向型授業	評価表の語句と配布資料の使用方法を理解する。	1	
12	高齢期の生理的・身体的特徴を理解する① (内臓器官を中心に)	同時双方向型授業	教科書 P39-48 と配布資料のポイントを整理する。	1	
13	高齢期の生理的・身体的特徴を理解する② (内臓器官を中心に)	同時双方向型授業	教科書 P39-48 と配布資料のポイントを整理する。	1	
14	老年症候群について理解する (排尿・嚥下障害・ホルモン・神経・運動器系を中心に)	同時双方向型授業	教科書 P39-48 と配布資料のポイントを整理する。	1	
15	老年症候群について理解する (廃用症候群、褥瘡、サルコペニアを中心に)	同時双方向型授業	教科書 P39-48 と配布資料のポイントを整理する。	1	
試	定期試験				

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①	✓	学期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書・配布資料・口頭説明の内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。				定期試験後に答案用紙を一時返却し、質疑の機会を設ける。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の wifi 環境を推奨する。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあり得る。</p> <p>教員の実務経験：本科目を担当する教員は作業療法士として在宅・施設の老年期領域において 10 年以上の実務経験を有している。</p> <p>実践的授業の内容：臨床における評価治療で得た知見に基づき、実際の評価バッテリーを用いて展開する。また、臨床で得た廃用症候群などの患者の症候や状態を画像・動画などで紹介し、視覚的な学びの手法として学生の理解を促す。</p>							